



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 メック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4971 URL <http://www.mec-co.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 坂本 佳宏 TEL 06 (6414) 3451

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,753	△1.1	1,602	3.3	1,640	△0.5	1,197	9.8
27年3月期第3四半期	6,825	13.5	1,551	25.2	1,648	21.8	1,089	16.8

（注）包括利益 28年3月期第3四半期 970百万円（△20.0%） 27年3月期第3四半期 1,212百万円（△16.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	59.94	-
27年3月期第3四半期	54.30	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	15,665	12,275	78.4	627.21
27年3月期	14,646	12,039	82.2	599.85

（参考）自己資本 28年3月期第3四半期 12,275百万円 27年3月期 12,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	6.00	-	8.00	14.00
28年3月期	-	8.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	10.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△0.6	2,100	4.6	2,150	1.0	1,450	7.9	72.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	20,071,093株	27年3月期	20,071,093株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	500,034株	27年3月期	34株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	19,971,059株	27年3月期3Q	20,071,059株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付書類2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

当社は平成28年2月2日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料は当社ホームページに記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）における世界経済は、先進国で回復傾向が見られました。米国では雇用・所得環境の改善および原油安の恩恵によって個人消費が増加傾向にあり、景気の拡大が継続しております。また、欧州では新興国経済の弱さから輸出が伸び悩みましたが、個人消費は底堅く、欧州経済は緩やかな回復傾向が続いております。一方で、中国をはじめとした新興国で景気の減速傾向が見られており、世界経済の先行きは不透明な状況となっております。

わが国経済は、政府による経済政策や金融緩和政策等を背景として雇用・所得環境に改善が見られるものの、国内消費の持ち直しは緩やかなペースにとどまっております。また、海外需要の減少から輸出は横ばいであり、景気の踊り場状態にあるとみられております。

エレクトロニクス業界では、タブレットPCの生産が低迷しており、また、一部のスマートフォンでは平成27年後半に在庫調整が始まっております。一方、IoT（Internet of Things）関連市場は近年急速に成長しており、デバイス類やビッグデータのデータ集約・分析用サーバーの需要が高くなってきております。

電子基板業界では、エレクトロニクス業界と同様にタブレットPC向け電子基板が不振でした。また、平成27年後半にはスマートフォン向けの電子基板の生産も低調となりましたが、サーバー向けの高密度基板は活況でありました。

このような環境のなか、当社グループでは銅と樹脂との密着強度を飛躍的に向上させる超粗化剤「CZシリーズ」やエッチング法で高密度配線パターンを実現する「EXEシリーズ」、フレキシブル基板向けの銅表面処理剤「CA・CBシリーズ」の売上は堅調に推移いたしました。「フラットボンド」は高速伝送対応電子基板製造用に実績ができました。しかしながら、タブレットPCの販売低迷に伴ってタッチパネル向け薬品の売上は低調でありました。また、低利益率の銅箔等の電子基板用資材の取扱いを減らしております。金属と樹脂とを直接接合する技術である「アマルファ」は、一部の携帯端末の金属筐体を使用される薬品として採用されております。

地域別の売上では、中国と韓国、東南アジアは堅調に推移したものの、日本と台湾は低調でありました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は67億53百万円（前年同期比1.1%減）となりました。営業利益は16億2百万円（前年同期比3.3%増）、経常利益は16億40百万円（前年同期比0.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億97百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産は、売上高の増加によって受取手形及び売掛金が増加したことや、尼崎事業所建設に伴う建設仮勘定が増加したこと等により、前連結会計年度に比べて10億19百万円増加し、156億65百万円となりました。

負債は、設備関連の支払手形等の流動負債その他が増加した結果、前連結会計年度に比べて7億84百万円増加し、33億90百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加した一方、自己株式を取得したこと等により、前連結会計年度に比べて2億35百万円増加し、122億75百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は78.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日（平成28年1月29日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成27年5月8日に公表した平成28年3月期通期業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

本資料に掲載されております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,297,267	5,288,632
受取手形及び売掛金	2,538,015	2,644,345
商品及び製品	310,179	330,949
仕掛品	55,013	34,019
原材料及び貯蔵品	212,364	214,760
繰延税金資産	199,666	211,290
その他	68,189	69,324
貸倒引当金	△12,179	△11,212
流動資産合計	8,668,516	8,782,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,312,799	3,280,394
減価償却累計額	△1,958,971	△2,010,056
建物及び構築物(純額)	1,353,827	1,270,338
機械装置及び運搬具	1,941,965	1,897,512
減価償却累計額	△1,501,139	△1,550,899
機械装置及び運搬具(純額)	440,826	346,613
工具、器具及び備品	759,934	820,238
減価償却累計額	△579,028	△596,148
工具、器具及び備品(純額)	180,905	224,089
土地	2,874,726	2,846,948
建設仮勘定	44,429	1,006,217
有形固定資産合計	4,894,715	5,694,206
無形固定資産	42,449	135,920
投資その他の資産		
投資有価証券	512,486	485,364
退職給付に係る資産	413,006	458,035
繰延税金資産	14,090	13,667
その他	135,028	129,934
貸倒引当金	△34,157	△33,450
投資その他の資産合計	1,040,454	1,053,550
固定資産合計	5,977,619	6,883,677
資産合計	14,646,135	15,665,787

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	650,907	744,762
未払金	340,169	269,939
未払費用	62,608	93,594
未払法人税等	353,557	138,741
賞与引当金	204,282	159,057
役員賞与引当金	47,830	19,350
その他	204,653	1,211,174
流動負債合計	1,864,008	2,636,618
固定負債		
繰延税金負債	655,416	678,086
退職給付に係る負債	59,610	46,998
その他	27,430	28,828
固定負債合計	742,457	753,914
負債合計	2,606,466	3,390,532
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	446,358	446,358
利益剰余金	9,800,268	10,676,258
自己株式	△12	△413,659
株主資本合計	10,840,756	11,303,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,206	120,611
為替換算調整勘定	864,092	684,168
退職給付に係る調整累計額	190,613	167,373
その他の包括利益累計額合計	1,198,912	972,153
純資産合計	12,039,669	12,275,254
負債純資産合計	14,646,135	15,665,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	6,825,453	6,753,195
売上原価	2,479,206	2,257,569
売上総利益	4,346,247	4,495,626
販売費及び一般管理費	2,795,104	2,893,405
営業利益	1,551,142	1,602,220
営業外収益		
受取利息	24,113	30,312
受取配当金	8,059	9,814
試作品等売却収入	12,053	13,552
為替差益	41,800	—
その他	15,447	8,290
営業外収益合計	101,474	61,971
営業外費用		
売上割引	3,761	3,799
為替差損	—	18,434
その他	781	1,598
営業外費用合計	4,542	23,831
経常利益	1,648,074	1,640,359
特別利益		
固定資産売却益	3,057	5,898
特別利益合計	3,057	5,898
特別損失		
固定資産売却損	10	1,356
固定資産除却損	4,401	10,048
特別損失合計	4,411	11,404
税金等調整前四半期純利益	1,646,720	1,634,853
法人税等	556,906	437,726
四半期純利益	1,089,814	1,197,127
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,089,814	1,197,127



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,089,814	1,197,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,768	△23,595
為替換算調整勘定	78,575	△179,924
退職給付に係る調整額	△7,163	△23,239
その他の包括利益合計	123,180	△226,759
四半期包括利益	1,212,994	970,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,212,994	970,367
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が413,646千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が413,659千円となっております。